

## 甲賀市における家庭教育支援の取組

### ■家庭教育を取り巻く現状

市では、新しく造成された住宅地が増え、核家族、共働き家庭が急増し、仕事と家事と子育ての中、日々の忙しさから子どもとゆっくり向き合う時間が取れない家庭が多い。加えて、地域での人間関係の希薄化などで、身近な相談相手が無く、育児不安を抱える保護者が増加している。また、親と同居、近居であっても祖父母世代との考え方の違いにより、育児に戸惑いを覚える保護者もいる。

### ■家庭教育支援で目指す姿(課題解決のために…)

- ・各サポーター(子育て、ブックスタート)の育成・登録・活動により、地域の家庭教育支援の意識を高め、市と地域が協力して子育て世代のサポートができるようにする。
- ・子どもにとって家庭が一番安心できる場所でいられるように、家庭の軸である父親や母親、時には祖父母に働きかけ、子どもが親から愛されていると感じ自尊心を高めていける家庭教育支援をめざす。

### ■本年度の活動

#### (1)地域人材の養成等

- ・甲賀市子育てサポーター養成講座
- ・ブックスタートサポーター研修会

#### (2)学習講座・行事の実施等

- ・子育て親育ち講座(保育園・幼稚園、小学校)
- ・いまどきの孫育て講座
- ・学齢期相談員による講話
- ・ブックスタート事業(年間 26 回)



【 子育て親育ち講座(命の学習) 】

#### (3)保護者に対する情報提供

- ・家庭教育についてのブックレットをブックスタート時に配付
- ・講座実施時や各子育て支援センターで祖父母のための子育てリーフレットを配付

### ■特徴的な取組

小学校を対象にした子育て親育ち講座(命の学習)では、助産師を講師に招き、体験や映像を交えて、命の大切さについて学習する。保護者は、授業参観、体験学習の参加や子どもへの手紙をとおして、当時の思いを振り返り、わが子への愛おしさを再認識してもらう。

### ■本年度の成果

- ・子育て親育ち講座で、助産師による講話の対象を園の保護者にも拡大できた。
- ・学校関係者や保護者を対象にした学齢期相談員による講話を実施し、「『聴いていますか子どもの声を』～聞いていますか私の声も～」をテーマに、相談員の経験をもとに子どもとの接し方や考え方のアドバイスをを行った。

### ■今後の課題

- ・講座の実施について、より効果的な支援になるよう内容と周知の工夫が必要である。

報告書記入者( 子育て政策課職員 )

## “親力”アップをめざして～甲賀市の家庭教育支援～

甲賀市 本事業開始年度 平成23年度	家庭教育支援員や支援チームに関すること
<b>活動内容</b> <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材の養成 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援体制の構築 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育を支援する取組 <input type="checkbox"/> 訪問型家庭教育支援活動の実施	A:家庭教育支援チーム数 ( 1 )チーム B:家庭教育支援員数 ( 6 )人 C:家庭教育支援チームや家庭教育支援員の配置場所数 ( 1 )か所 D:前項(C)の配置場所名 (甲賀市子育て支援政策課)
年間活動日数(のべ)	( 17日 )

### ■ 活動の具体的内容

#### ○地域人材の養成等

- ・甲賀市子育てサポーター養成講座  
実施日/9月26日、10月3日  
場 所/甲賀市まちづくり活動センター「まる一む」  
対象者/市内在住・在勤の20歳以上の方、延べ24名参加
- ・ブックスタートサポーター研修会 予定  
対象者/ブックスタートサポーター、園での読み聞かせサポーター他



【 園での子育て親育ち講座 】

#### ○学習講座・行事の実施等

- ・子育て親育ち講座(保育園・幼稚園、7園8回実施済みまたは予定)  
(小学校、7校4回実施済みまたは予定)
- ・いまどきの孫育て講座  
実施日/12月7日  
場 所/甲賀市まちづくり活動センター「まる一む」  
参加者/30名
- ・学齢期相談員による講話  
実施日/12月12日  
場 所/甲南第二小学校  
対象者/学校関係機関、地域、保護者、学校職員 約20名参加



【 学齢期相談員による講話 】

#### ○保護者に対する情報提供等

- ・家庭教育についてのブックレットを4か月健診に実施するブックスタート時に配付(年間26回、約600冊配付)  
10か月健診では、ブックスタートのフォローアップとして読み聞かせの啓発活動を実施
- ・講座実施時や各子育て支援センターで祖父母のための子育てリーフレットを配付

### ■ 実施に当たっての工夫

- 園や小学校で実施する子育て親育ち講座では、実施園や小学校の規模や要望に応じて講師を紹介したり、内容を変更したりするなどして対応している。

### ■ 事業の成果

- 継続して子育てサポーター養成講座を実施することで、サポーターの登録者数を増やすことができています。
- 園での講座での内容を充実させ、わらべ歌での触れ合い遊びやバランスボールを使った親子運動のほか、新たにお金について知る「マネー教室」を実施した。保護者アンケートから「家庭でもお金の使い方や大切さを一緒に話し合っていきたい」など親子でお金について考える機会を提供できた。

### ■ 事業実施上の課題

- 子育て親育ち講座の対象を広げたが、実施園・校は限られている状況である。周知方法や内容を検討していく必要がある。
- 講演型の講座では、質疑応答の時間が欲しかったという感想があり、参加者の体験や困りごとを共有できる時間を設けられるよう内容を工夫したい。

報告書記入者( 子育て政策課職員 )